

○第98回肥料・飼料等／第59回微生物・ウイルス合同専門調査会
(薬剤耐性菌に関するWG) (公開)

日時：平成27年2月4日(水) 15:00～16:28

議事概要：

○豚に使用するフルオロキノロン製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

審議の結果、

○ 評価対象動物用医薬品であるフルオロキノロン系抗菌性物質が、牛及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、牛及び豚由来食品を介してヒトがハザードに暴露され、ヒト用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えられた。

○ なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とは言えず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正することとされた。

なお、「その他の考察」における付帯事項等については、継続審議とされた。

* エンロフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤の承認申請に伴い評価を行うものです。豚の胸膜肺炎の治療に使用されます。